



2021-2022 年度
6月号
NO. 393

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

評価

国際会長：Kim Sang-chaе (Korea) 主題:「世界とともにワイズメン」
アジア太平洋地域会長：大野 勉 (神戸ポート) 主題:「100 年を越えて変革しよう」
東日本区理事：大久保知宏(宇都宮) 主題:「変化をたのしもう！」
関東東部部長：大澤和子(所沢) 主題:「地域に世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワ」
東京ひがしクラブ会長：高野真治 主題「摂取不捨」～えらばず、きらわず、見すてず～

6月例会(納会&引継)

と き 2022 年 6 月 9 日(木)
18:30~20:30
ところ 東陽町センター「YMCA ホール」
※ハイブリッド形式

司会 金丸満雄

★プログラム

開会点鐘 会長 高野真治
ワイズソング/信条
会長挨拶
食前の感謝
食 事
今月の誕生日・結婚記念日
今期を振り返って(それぞれの一年)
会長引継ぎ
各種報告
閉会挨拶 副会長 千代一郎

2021-2022 年度 東京ひがしクラブの活動を振り返って

高野真治



新型コロナウィルスが収まらない中で、全員が顔を合わせて例会を開くよう工夫しての1年でしたが、Zoom 開催が8月・9月・10月・11月・2月・3月の6回、対面での開催は7月・12月・1月・4

月・5月・6月の6回となりました

8月例会では大澤和子関東東部部長の公式訪問があり、クイズ大会を行って楽しみました。9月例会は、講師の東京YMCA会員部主任主事 中里敦氏からYMCAのコロナ禍での活動、事業への対策などお聞きしました。10月例会は、熊本YMCA 総主事の光永尚生氏にお願いして、震災被害からの復興状況を聞くことが出来ました。11月例会は、所沢クラブとの合同例会が開かれました。両クラブの子ども食堂についての情報交換、支援活動など確認しあいました。12月例会は対面でクリスマス例会が開かれました。例会には長期入院していた飯田歳樹メンもご家族と一緒に出席してくれ、ゲーム大会・プレゼント交換で楽しみました。そんな楽しい思いを残して飯田さんを12月31日ご浄土へ送ることになってしまいました。

✚ 今月の聖句 ✚

『わたしは、彼らに永遠の命を与える。彼らはいつまでも滅びることがなく、また、彼らをわたしの手から奪い去る者はない』

—ヨハネによる福音書 10 章 28 節—

5月例会

出席者 10名 ビジター 名
会員出席数 9名 ゲスト 1名
在籍数 12名
(広義会員2名)

ひがし会員出席率 90%

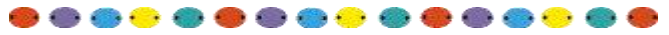
スマイル

4月 8,000 円

累計 37,000 円

2021-2022 年度役員

会 長 高野真治
副会長 千代一郎
書 記 金丸満雄
会 計 須田哲史
担当主事 沖 利柯



YMCAコーナー

担当主事 沖 利柯

▼ウクライナ緊急支援募金

戦争が長期化していることから募金期間を延長し、8月末を期限に第二次募金の受付を開始しました。募金はウクライナYMCAと近隣諸国のYMCAが連携して行っている避難民への人道支援に加え、日本に避難するウクライナの人々の生活支援のために用います。すでに日本YMCA同盟が中心になり、日本に避難を希望する約100名の避難民を受け入れ、来日後の生活、教育、就労などトータルな支援を行っています。東京YMCAには5月16日現在、8,031,482円の募金が寄せられています。引き続きご協力の程御願い申し上げます。

▼第19回東京YMCA会員大会

5月21日にハイブリッド形式で開催され、会場である山手センターとオンライン、合わせて73名が出席しました。開会礼拝に続く第二部は上田晶平会員部運営委員長挨拶で始まり、2022年度の会員部運営委員として須田さんを含む25名が推挙されました。またlibyの活動拠点を7年にわたり提供された岸野憲氏・眞理氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られました。さらに特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けました。

菅谷淳総主事による東京YMCAの2021年度報告に続き、第三部では、「これからの東京YMCAをともに考える」のテーマのもと、総主事他3名の職員から発題があり、質疑応答ののちに8つのグループに分かれて分団協議を行いました。最後に、松本数実国際・総合教育事業統括からウクライナ支援活動の報告があり、Viktor Serbulov ウクライナYMCA総主事もオンラインで登壇し、東京YMCA会員に向けて感謝のメッセージをいただきました。尚、大会中音声のトラブルで大変お聞き苦しい場面がありましたこととお詫びいたします。

▼東陽町コミュニティセンター主要予定

今年は様々なイベントを復活していきたいと願っています。以下主な予定ですので、ご予定ください。よろしくお願いたします。

- 1) 第9回フードパントリー(7/17)
- 2) 第9回平和展(8/1~9)
- 3) 災害スタディ 2022(9/3)
- 4) チャリティーラン(9/23)
- 5) 認知症サポーター養成講座(9/29)
- 6) 第10回フードパントリー(12月)
- 7) クリスマスオープンハウス(12/11)
- 8) 子どもクリスマス(12/17)
- 9) ピンクシャツウィーク(2/20~25)
- 10) 陽春の集い(2/25)
- 11) 第11回フードパントリー(3月)
- 12) 第10回平和展(3/2~11)
- 13) 3.11 記念講演会(3/11)



★今月の誕生日

今井一夫メン(9日)
高野真治メン(26日)



2022年1月例会は対面で行いました。12月に亡くなられた飯田さんのコメントも遺影とともに参加され、みんなで思い出を語る例会になりました。2月例会は、講師に所沢クラブの小林勉氏をお迎えして、人工衛星と私たちの暮らしとの関りについて知識を深めることが出来ました。3月例会はZoom開催で、ひがしクラブの行事の1つであるピースウォークをリモートウォークで行いました。4月例会は対面例会で行いました。講師例会として副会長の千代一郎氏に、ピルの鉄骨の性能評価について解りやすくお話を聞くことが出来ました。5月例会は、館外例会でしたが天候不順で中止になり対面例会となりました。ひがしクラブの年間出席率(平均)は81%。

例会以外の活動として東陽町農園の作業。そこで出来た里芋で芋煮会を実施。みんなで食べて楽しみました。フードパントリーは、コロナ禍において江東区内のひとり親家庭を対象に食品などの無料配布を開始しました。ひがしクラブは、下町子どもダイニングのボランティアとして、集まった品物の仕分け作業や各子ども食堂への配布作業に参加しました。全面的にバックアップしている下町子どもダイニングは、12月のクリスマス会では多くの参加者を得て久しぶりに、賑やかに開催いすることができました。その他に東京YMCAの行う活動にも積極的に参加しました。

コロナ禍で悔いの残る1年でしたが、皆さん本当にありがとうございました。

5月例会報告

竹内 聡

5月例会は、恒例の館外例会です。今年は、昨年中止となった「神田川船の会」に参加することにした。コロナ感染で長い間館外例会が出来なかったので10名の参加者で申しこむことが出来た。下船後は、ミニ例会を金丸ワイズの友人が経営している喫茶店で行うこととした。準備が整い当日を迎える前日から、都内は大雨となった。その影響で思いもしない「神田川船の会」の中止連絡が伝えられた。予定外のことで例会の中止も考えたが仙台から参加する竹内の希望(Zoomでなく生の仲間と逢いたい)で、通常の例会が出来ないか検討された。何時も機転がきくワイズ役員、担当主事からホールの空きを聞いて直ぐにミニ例会を行うことにした。ミニ例会後は近くの居酒屋で懇親会を行うことになった。例会は連絡事項を中心に報告が行われた。6月18日の「京都ウエストクラブ(DBC)会長引継ぎ式」に金丸、竹内、千代の3名が出席することにした。6月25日に「飯田ワイズを偲ぶ会」を行うこととした。居酒屋に移動して皆んなの顔を見ながら高野会長の「乾杯」で短い時間を和やかに過ごすことが出来た。席はアクリル板で区切られ安心して飲食が楽しめた。配膳はBellaBot(ベラボット)が注文した商品を自動で目的のテーブルまで届ける「配膳のセルフ化」を見ることが出来た。コロナ禍における新様式への対応を実感した日でもあった。都内はスマートシティ構想が身近に浸透して来ている。